

平成19年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月12日調査)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉 齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	25.8 (97%)	202 (74%)	4.3 (-0.4)	36.2 (-0.4)	6.2 (+0.0)
	前年	24.0	351	3.7	37.0	5.8
	平年	26.6	274	4.7	36.6	6.2
ひとめぼれ	本年	22.2 (93%)	249 (87%)	4.2 (-0.6)	38.9 (+0.3)	6.3 (+0.2)
	前年	20.5	366	4.1	38.0	5.8
	平年	24.0	287	4.8	38.6	6.1
たかやまもち	本年	26.0 (93%)	209 (80%)	4.2 (-0.5)	36.6 (+0.3)	6.2 (-0.1)
	前年	28.0	349	4.1	38.1	5.7
	平年	27.9	261	4.7	36.3	6.3
ひだほまれ	本年	27.3 (97%)	193 (76%)	4.2 (-0.3)	35.2 (-1.3)	6.4 (+0.1)
	前年	28.0	282	3.8	37.6	6.1
	平年	28.1	254	4.5	36.5	6.3

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間の平均値

()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

5月中下旬の気温が低く推移したため、全般に活着が遅れた。葉齢は、ほぼ平年並みで特に遅れは見られないが、生育量が少なくなっている。

草丈は、「コシヒカリ」と「ひだほまれ」で平年比97%、「ひとめぼれ」と「たかやまもち」で93%と、いずれの品種も平年より短くなっている。また、茎数はいずれの品種も平年より少なく、平年比では「ひとめぼれ」の87%が最高で、他品種は80%以下と、分けつが進んでいない。

葉色は、SPAD値では、「ひとめぼれ」と「たかやまもち」でわずかに平年値を上回っているが、葉色板では、いずれの品種も平年値より淡い。葉色については、調査株間の差が大きい(バラツキが多い)ため、群葉(ほ場全体)では、数値以上に淡く感じられる。

2) 病虫害等の発生状況

イネミズゾウムシは、5月下旬から飛び込んできており、一部の株では葉に食害痕が見られる。また、イネアオムシ(フタオビコヤガ)が発生し始め、若齢幼虫が散見されるようになった。

3) 今後の管理

初期生育は芳しくないが、「分けつ肥」等の追肥は控えること。特に「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」では、生育過剰となり倒伏やいもち病の原因となるので厳禁。

今後、梅雨に入り降雨が多くなるが、晴れ間を利用して早期中干しを実施したい。一度落水し田面にわずかにヒビが入るまで数日干して、田面を固め、土壌中のガス抜きを行う。その後の水管理は間断灌水とする。

<参考> 前年調査時(平成18年6月13日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	20.5 (80%)	366 (122%)	4.1 (-0.8)	38.0 (-0.8)	5.8 (-0.4)
	前年	23.0	291	5.1	39.1	6.5
	平年	25.5	299	4.9	38.8	6.2
コシヒカリ	本年	24.0 (87%)	351 (122%)	3.7 (-1.1)	37.0 (+0.5)	5.8 (-0.6)
	前年	27.2	191	4.8	37.4	6.3
	平年	27.6	288	4.8	36.5	6.4
たかやまもち	本年	28.0 (99%)	349 (122%)	4.1 (-0.7)	38.1 (+1.6)	5.7 (-0.7)
	前年	25.5	164	4.8	35.3	6.0
	平年	28.3	285	4.8	36.5	6.4
ひだほまれ	本年	28.0 (98%)	282 (111%)	3.8 (-0.8)	37.6 (+1.7)	6.1 (-0.3)
	前年	27.9	266	4.7	38.5	6.5
	平年	28.5	254	4.6	35.9	6.4

岐阜県中山間農業研究所

TEL 0577-73-2029

FAX 0577-73-2751

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>